

太陽の坐る場所 (2014)

メディア 映画

ジャンル ドラマ ミステリー

製作国 日本

時間 102分

初公開日 2014/10/04

公開情報 ファントム・フィルム

映倫 G

【キャッチコピー】

あなたさえいなければ、わたしがキョウコだった――

【解説】

直木賞作家・辻村深月の同名小説を「ストロベリーショートケイクス」「スイートリトルライズ」の矢崎仁司監督が映画化。地方の女子高で出会ったふたりのキョウコを主人公に、10年後のそれぞれの運命の対比を通して、思春期ならではの鬱屈や残酷さを内包した同級生たちの人間模様を綴る。主演は「バイロケーション」の水川あさみと「ニシノユキヒコの恋と冒険」の木村文乃。

女子高でクラスの女王として君臨していた高間響子。ある日、彼女の前に同じキョウコという名の転校生、鈴原今日子が現われる。ふたりはすぐに仲良くなり、今日子は響子によって“リンちゃん”と呼ばれるようになる。そんな中、ある出来事を境に、ふたりの境遇は大きく変わっていく。高校卒業から10年。地元で地方局のアナウンサーとしてくすぶる響子に対し、今日子は東京で人気女優として華々しい活躍を続けていた。そんなふたりは、島津謙太が幹事を務めるクラス会で、ついに卒業以来初めて顔を合わせるが…。

【クレジット】

監督	矢崎仁司
製作	野口英一
企画	中村一政 今村睦
エグゼクティブプロデューサー	小西啓介 篠原公男
プロデューサー	田辺順子 荻野弘樹
ラインプロデューサー	新野安行
原作	辻村深月
脚本	矢崎仁司
撮影	石井勲
美術	布部雅人
編集	目見田健
音楽	田中拓人
音楽プロデューサー	佐々木次彦
主題歌	藤巻亮太
照明	大坂章夫
録音	高島良太

『太陽の坐る場所』
(文春文庫刊)

『アメンボ』

整音

助監督

出演

吉田憲義

塩入秀吾

水川あさみ 高間響子

木村文乃 鈴木今日子

三浦貴大 島津謙太

森カンナ 水上由希

鶴見辰吾 野島

古泉葵 高間響子（高校時代）

吉田まどか 鈴木今日子（高校時代）

大石悠馬 島津謙太（高校時代）

山谷花純 水上由希（高校時代）